

政策分析シート（令和3年度）

政策名	伝統文化の継承と都市間交流の推進	政策No	09	部名	地域文化スポーツ部
関連部名	総務企画部	部長名	古瀬	内線	3700
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市		

目的 区民が主役の芸術文化の振興により区民の幸福実感を高め、区の魅力を内外に発信すること、区民・生活・地域が芸術文化でつながるまちを創る。
有形・無形の文化財の保存や、郷土の歴史や地域について学ぶ機会の提供などにより、伝統文化の継承や新たな文化の創造に向かい、地域、区民と一体となって区の文化力を向上させる。

指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文	
		30年度	元年度	2年度		
①	充実した余暇・文化活動、地域のひととのふれあいの実感	2.51	2.59	—	充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？	
②	興味・関心事への取り組み	3.12	3.14	—	興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？	
③	生涯学習環境の充実	3.06	3.07	—	生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？	
④	地域への愛着	2.88	2.91	—	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？	
⑤	文化的寛容性	2.59	2.68	—	文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？	
⑥						
⑦						

指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)	
①	荒川ふるさと文化館利用者数（人）	19,897	20,085	14,178	17,500	24,500	展示室観覧者＋伝統工芸ギャラリー鑑賞者
②	伝統技術展参加職人数（人）	65	65	0	50	66	2年度は中止
③	文化祭来場者数（人）	10,342	11,800	0	8,781	23,000	2年度は中止
④	地域振興事業来場者数（人）	44,950	38,734	15,784	27,600	55,000	芸術文化振興財団（ACC）が行う芸術文化・地域振興事業
⑤	国内交流都市との連携事業数（事業）	27	30	12	40	30	各課で実施している国内交流都市との連携事業数
⑥	海外都市交流事業参加者数（人）	310	177	6	200	320	2年度は、ウィーン高校生相互派遣動画交換参加者
⑦							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	元年度	2年度	差額	勘定科目	元年度	2年度	差額
物件費	367,604	344,017	▲ 23,587	行 政 支 出 金	3,757	2,251	▲ 1,506	
維持補修費	38,534	35,204	▲ 3,330	都 支 出 金	7,102	3,124	▲ 3,978	
扶助費	0	0	0	分 担 金 及 び 負 担 金	0	0	0	
補助費等	184,105	190,538	6,433	使 用 料 及 び 手 数 料	4,522	648	▲ 3,874	
減価償却費	183,169	183,355	186	そ の 他 行 政 収 入	25,461	21,222	▲ 4,239	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行 政 収 入 合 計 (a)	40,842	27,245	▲ 13,597	
賞与・退職給与引当金繰入額	12,511	15,781	3,270	行 政 収 支 差 額 (a) - (b) = (c)	▲ 897,951	▲ 892,767	5,184	
その他行政費用	1,238	2,239	1,001	金 融 収 支 差 額 (d)	▲ 3,536	▲ 3,275	261	
行政費用合計 (b)	938,793	920,012	▲ 18,781	通 常 収 支 差 額 (c) + (d) = (e)	▲ 901,487	▲ 896,042	5,445	
特別費用 (g)	0	0	0	特 別 収 入 (f)	1,912	0	▲ 1,912	
特別収支差額 (f) - (g) = (h)	1,912	0	▲ 1,912	当 期 収 支 差 額 (e) + (h)	▲ 899,575	▲ 896,042	3,533	

貸借対照表	勘定科目	元年度	2年度	差額	勘定科目	元年度	2年度	差額	
									流動資産
	不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		特別区債	190,533	190,649	116
固定資産	有形固定資産	3,630,339	3,486,221	▲ 144,118		賞与引当金	6,169	6,649	480
	土地	1,618,879	1,642,186	23,307		その他の流動負債	0	0	0
	建物	8,152,153	8,152,153	0	固定負債	1,365,849	1,209,995	▲ 155,854	
	建物減価償却累計額	▲ 6,140,693	▲ 6,308,118	▲ 167,425		特別区債	1,299,563	1,139,913	▲ 159,650
	工作物等	0	0	0		退職給与引当金	66,286	70,082	3,796
	工作物等減価償却累計額	0	0	0		その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	1,562,551	1,407,293	▲ 155,258	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	3,314,606	3,317,051	2,445	
	その他の固定資産	1,246,818	1,238,123	▲ 8,695	正味財産の部合計	3,314,606	3,317,051	2,445	
	資産の部合計	4,877,157	4,724,344	▲ 152,813	負債及び正味財産の部合計	4,877,157	4,724,344	▲ 152,813	

財務諸表に関する特微的事項等

- 行政費用として物件費が約4割を占めており、文化施設の管理運営に係る委託料が主なものである。
- その他行政費用は、補助90号線整備に伴う駐輪場代替予定地の舗装整備工事費及び彫刻設置に伴う工事費等、行政収入のその他は、指定管理者利益納付金等である。
- 貸借対象表に計上されている有形固定資産は文化施設に関するものである。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○区民が優れた芸術文化に身近なところでふれ、楽しめるよう芸術文化団体、ACC、東京藝術大学等と連携して、芸術文化の充実を図っている。</p> <p>○区では、国内外の都市と交流し、イベントへの相互参加、災害時相互応援協定の締結、高校生相互派遣、自然体験を通じた交流など様々な分野において事業を展開してきた。</p> <p>○区に伝わる有形・無形の文化財の保存、伝統工芸技術の継承支援をするとともに、区民に伝統文化のすばらしさを伝えるための展示や体験事業等を行っていた。</p> <p>○令和元年度末に発生した新型コロナウイルスの影響により、一部事業を休止としたが、オンライン等を活用し、俳句文化振興事業や交流事業を実施したことで芸術文化の振興を図っている。</p>
課題	<p>○子どもから高齢者、障がい者をはじめとする様々な方々に対する文化芸術の鑑賞環境の充実、体験機会の充実を図る必要がある。</p> <p>○新しい生活様式に対応した形で、交流都市それぞれの地域性に応じ、お互いにとって有益となる交流を推進する必要がある。</p> <p>○芸術文化の力によるまちづくりのため、教育、観光、福祉等の分野と一層連携を図るとともに、俳句文化・歴史・伝統工芸技術などの地域の魅力を積極的に発信する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○子どもたちを対象としたアートワークショップやコンサート、障がい者を対象とした芸術文化事業など、誰もが身近な場所で気軽に参加ができる機会を提供する。</p> <p>○国内外の都市間交流については、オンラインを活用しながら交流を継続し、郷土や地域文化に対する誇りと愛情を深めるとともに、異文化に対する理解を促進していく。</p> <p>○先人たちが創り育んできた伝統文化の保存や継承に努めるとともに、時代に即した新たな視点で、伝統と現代性が調和した文化振興を推進していく。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の動向を踏まえ、感染症対策を徹底して事業を実施していく。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	3年度設定	4年度設定	
芸術文化の振興	重点的に推進	重点的に推進	芸術文化の力を区の施策に活用することにより、地域の活性化や区の情報発信力の強化を目指すとともに、区民が主体となる取り組みを推進し、より荒川区に根ざした芸術文化の振興を図る。
国内・海外都市との交流の推進	重点的に推進	重点的に推進	国内外の交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や交流の充実を図る。
伝統的文化の保存と継承	重点的に推進	重点的に推進	区における文化財、史跡、伝統工芸技術の保存・継承において重要であり、引き続き重点的に推進する。